

令和8年3月1日
石川県勤労者山岳連盟
山の天気講習会

天気予報から学ぶ山岳気象のリスク
～気象遭難を避けるため～



池津 勝教
(いけづまさのり)

- **気象予報士**
- **防災士**
- **気象防災**

アドバイザー

2013年～ NHK金沢放送局

- **かがのと**
- **かがのとラジオ**

本日の内容

①山岳気象の特徴

（平地との天気予報との違い）

②基本となる天気図の見方

③インターネットで手に入る

気象データ

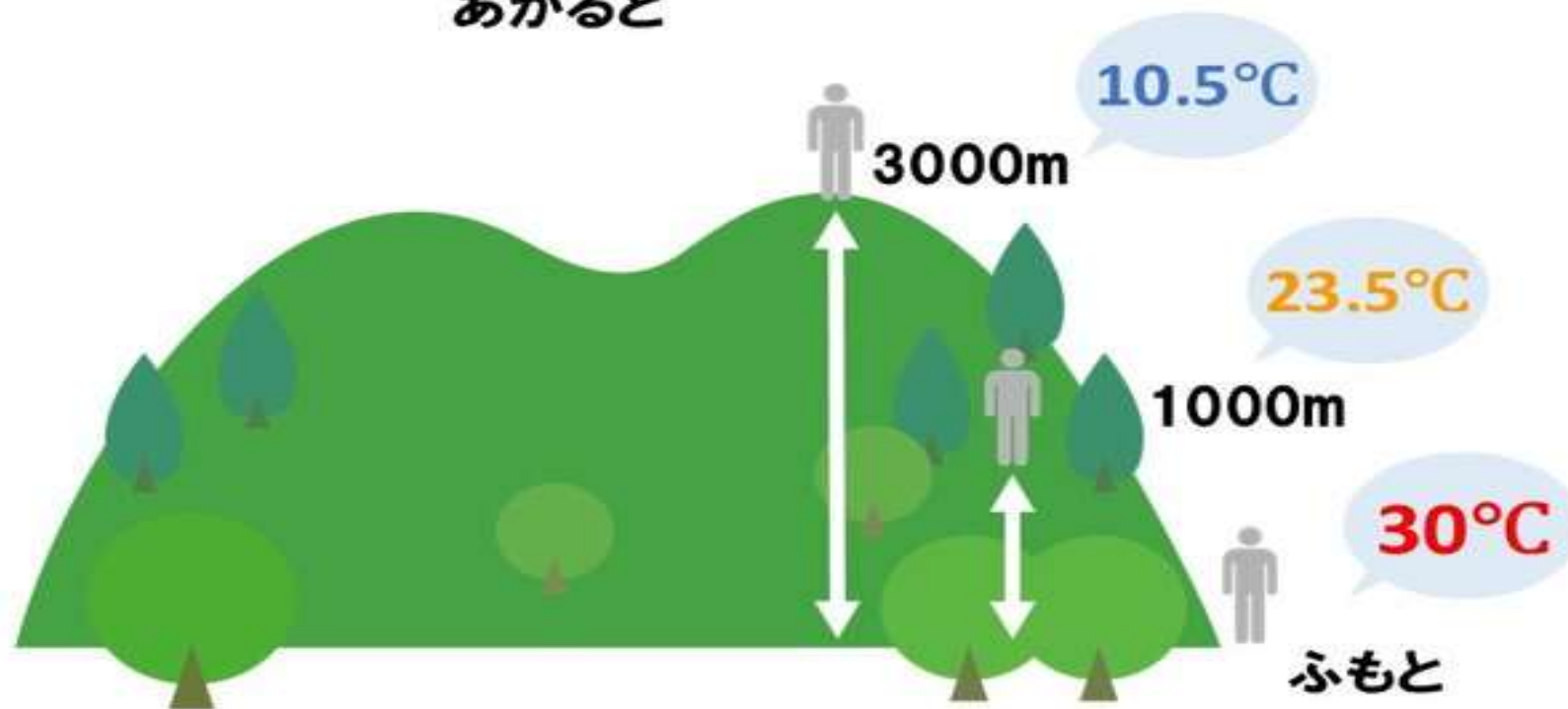
山岳気象の特徴



山岳気象の特徴① 平地と比べて気温が低い

標高1000m = 気温 -6.5°C

あがると



山岳気象の特徴② 平地と比べて風が強い

1/10の風速(午前9時)

上空ほど地形の影響(摩擦力)が小さい!

2,900m

24m/s

時速86km ξ = 

1,400m

22m/s

時速79km ξ = 

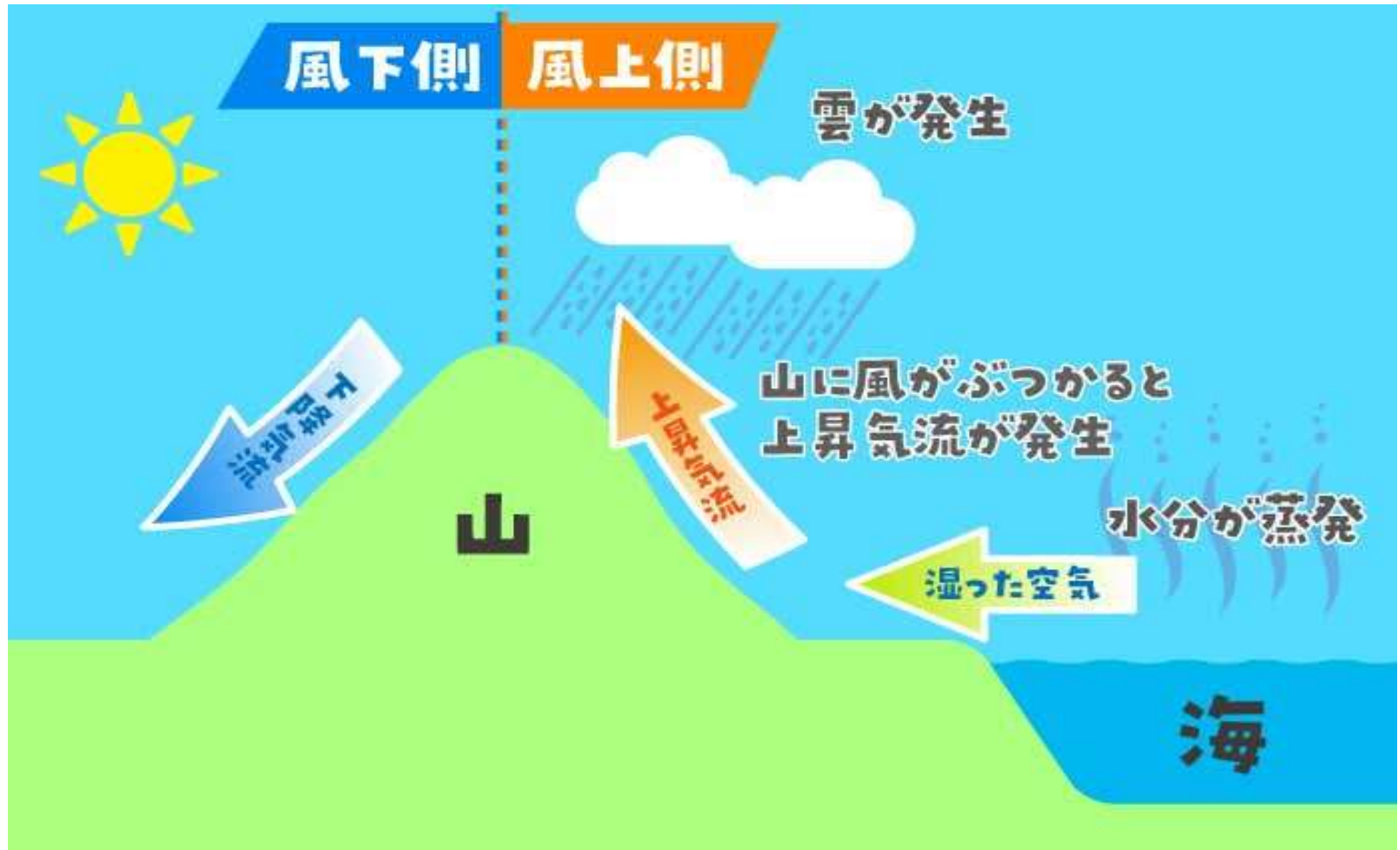
地上

12m/s

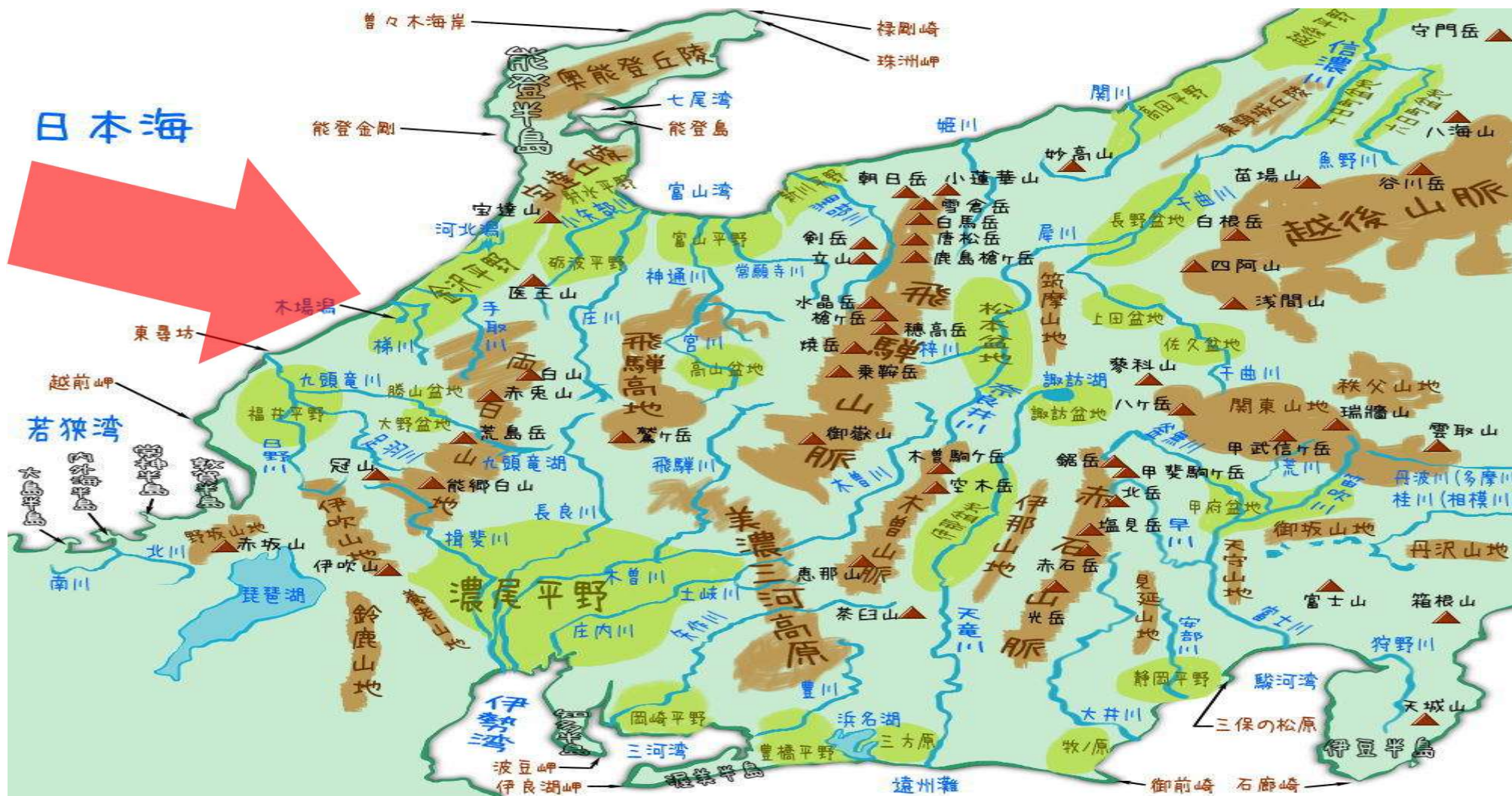
時速43km ξ = 



山岳気象の特徴③ 雨雲が発生しやすい



北陸の山は海からの距離が短い
→海から湿った空気が入りやすい



出典：47Perfectures 47都道府県のあれこれ

想像してみましよう
～金沢の天気予報～

曇り時々晴れ 最高気温20℃ 西風5m

白山室堂付近の午後の気象状況は？



白山の‘四季’（六季??）

夏



初秋



晩秋



冬



早春



晩春



季節のイメージ

季節

平地

山（白山）

夏

6～8月

7～8月

秋

9～11月

9～10月上旬

冬

12～2月

10月下旬
～4月下旬

春

3～5月

5～6月